

## 第31回「グループホームたなお」運営推進会議議事録

日 時：令和4年5月21日（土）

場 所：グループホームたなお

出席者：入居者ご家族1名、町内会長、小池議員、高齢介護課職員、GH管理者

### 1. 前回会議（3月19日分）からの運営状況について

#### 1) 入退居について（5/20日現在）

- ・入退居者 : 新規入居者0名 退去者1名（5月初旬看取り）
- ・待機状況 : 待機者15名（男性9名、女性6名）  
※前回会議新規申し込み2件、キャンセル4件
- ・入居者数 : 17名 夢の華 : 8名（男性2名・女性6名）  
希望の華 : 9名（男性2名・女性7名）  
70代…1名 80代…8名 90代以上…8名  
平均年齢 : 90.1歳（78歳～102歳）  
平均入居日数 : 1466.8日（252日～1,872日）  
介護度 : I…6名 II…6名 III…4名 IV…1名 平均介護度 : 2.0

令和3年度年間稼働率 : 98.2%（5月1名入院、8月末1名看取り、11月～2月1名入院）

#### 2) 職員の異動について

- ・退職者0名
- ・4月1日新規採用1名（夢の華ユニット）
- ・休職中1名（希望の華ユニット）

#### 3) 事故・急変・医療連携等について

※3～4月分の事故・ヒヤリハット集計

- ・ヒヤリハット : 転倒15件、切傷・打撲1件、離設6件、誤飲・異食3件、服薬ミス5件  
物品の破損、紛失3件 計33件（前回比+13件）  
※転倒に関するヒヤリが増えた要因として、転倒後福祉用具を使用していた人が、状態が改善して、福祉代具を使用せずに一人で歩いていたなどを転倒しそうなヒヤリとして挙げている為
- ※物品の破損、紛失については、義歯を居室内で外してしまって、紛失しかけたなど
- ・事故発生状況 : 転倒12件、転落1件、切傷・打撲1件、離設2件、誤飲・異食1件  
服薬ミス7件、利用者同士のトラブル1件、その他1件  
計26件（前回比+2件）

※転倒・転落に関して件数が多い要因として、退院後の車椅子から歩行に戻った方がいた為  
また、看取りを含む体調・身体機能の低下している方がいる為

※薬のミスは嚥下機能の低下している方が、内服介助で一旦口に入れて内服できたと思ったが、その後飲み込めていなくて出していたなど

※時間帯としては朝の夜勤明けの時間、夕方の日勤者が帰った後の時間が一番多い

※入居者本人の身体機能の低下と介護職員の確認不足が多数の要因となっている

- ・救急搬送（救外受診）：4名（※救急搬送3名、救外受診1名）  
救急搬送（意識消失、嘔吐後サチュレーションの低下、転倒）  
救急外来（熱発）
- ・入院者：3名（白内障、骨折、心不全）※現在2名入院中
- ・看護師コール対応：1回 看取り対応に関して
- ・盛田歯科訪問診療：4名

#### 4) 身体拘束・虐待防止について

- ・身体拘束防止のガイドラインに設定されている事項については該当なし

#### 5) イベント関係について（3月20日～5月20日分）

- ・イベント：誕生日会
- ・来訪イベント：わんとほーむ（動物介在）、新舞踊（ひばり会）
- ・個別外出：桜の花見、藤の花見、ドライブ、清掃活動等

#### 6) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策、インフルエンザ対策

- ・ホーム内でのマスク着用、手指消毒の徹底、定期的な換気、次亜塩素酸水噴霧
- ・面会に関しては共用スペース及び居室までの面会可能（感染状況によって変更有）
- ・LINEによるオンライン面会体制あり（利用実績なし）
- ・買い物への同行に関しては中止し、理容に関しては訪問理容を利用している。
- ・個別外出は密にならない屋外の場所のみ。
- ・全職員のPCR検査4月～5月末まで、2週間に1回計4回実施中

#### 7) 研修参加状況

##### 研修参加（オンライン研修）

- ・4月 倫理及び法令順守：全職員受講
- ・援助者としての自己覚知：2名
- ・おもてなし接遇：1名
- ・相談員の位置づけと役割：1名

##### その他研修

- ・認知症介護指導者としての地域での実践事例報告 1名受講
- ・へきなんの介護BCP（事業継続計画）について 1名受講
- ・介護支援専門員更新研修 1名受講中（現在中断中）

##### 講師派遣

- ・地域密着型サービス事業所管理者研修（災害時における地域連携）講師
- ・日本福祉大学 非常勤講師として講義
- ・半田市デイサービス職員研修 講師

## 8) 地域・行政との連携

- ・碧南市認知症初期集中支援チーム・チーム員会議参加
- ・碧南市オレンジサポーター交流会協力
- ・碧南市認知症の家族の集い・本人交流会協力
- ・碧南市サービス機関連絡協議会役員会・総会参加
- ・棚尾地区自主防災を考える会出席

## 9) 意見交換

### ☆町内会長さんより

- ・町内の一人暮らしの方が入居した場合、その後の情報が途切れてしまう為場合によっては情報提供をお願いしたい。
  - ➡個別に情報交換を実施、すでに町内会長さんも情報を把握している方だった
- ・琴平社については源氏町が管轄していて、総代さんが掃除等をしてきていたが今は体調を崩して掃除が出来ていない為、ホームが行ってくれているのは大変ありがたい、ぜひ継続してほしい。

### ☆高齢介護課職員さんより

- ・前回会議では事故の転落が多かったが、今回は件数が減っているが何か対策を行った結果か？
  - ➡元々、ご自分で歩けていた方が、身体機能の低下で一人では歩けなくなったが夜間帯など一人でトイレに行こうとしてベッドから転落などが続いた夜間帯にトイレの声掛けを行うようにした結果、転落が無くなった
- ・事故の要因で職員の確認不足が多く上がっているが、どのような対策を行っているか？
  - ➡実際に、薬を服薬する際には日付の確認や飲み込めたかなどの確認を行うことになっているが、夜勤明けや夕方のスタッフの少ない時間帯に確認したつもりが十分に確認ができておらず、結果的に事故につながってしまっているケースが多い。もともと決められている確認事項の徹底を行っている。
  - ➡事故に関しては、事故内容、要因、発生場所や時間帯を基に、リスクマネジメント委員会で検討し1件でも事故を減らせるように努めている
- ・家族へは日々の様子などどのように伝えているのか？
  - ➡日々の様子や行事の写真を載せたホーム通信と担当者から一か月の様子（食事・入浴・睡眠・体調面・体重・普段の様子など）を書いたお手紙を請求書と一緒に送っている。
    - ⇒ご家族に送られてきてどうか確認
      - よく書いてあると思うよ。毎回大変だな一思っている。自宅でも見るのは大変だったからと言われる
      - ⇒通信についても配布する

### ☆小池議員より

- ・入居後家族と会わなくなって、家族の顔を忘れてしまう方はいないか？
  - ➡人によるのと、家族と会わなくなって顔を忘れてしまうよりは、認知機能が低下してきて顔を忘れてしまう方はいる。認知機能の低下で見当識障害は時間軸が分からなくなることから始まり、場所の見当がつかなくなり、その後に人の顔が分からなくなってくることを

お伝えする。

- ・いつも来訪する時、皆さん穏やかだけどトラブル等はないのか？

➡日常的に起こっている。家事作業などそれぞれのやり方やこだわりがある為、他者に干渉されて言い争いになったりは日常的にある。空間を分けたり作業内容を分けたり、状況に応じて職員が仲介しながら対応している。口論だけならまだ良いが、手が出てしまう事もある為、状況を見ながら介入している

⇒やはり人間だからあるんですね。いつも静かで穏やかだなんて思っていたからと言われる

☆ご家族より

- ・入居者に対し何かを強制しても難しいよね、何かコツはあるの？

➡強制することは基本出来ないし、強制しようとするとうつにつながる

一人一人ポイントとなるような物を見つけてアプローチするが、ポイントがなかなか見つからない人は難しい事を説明

☆GH 管理者より

- ・今年度は8月に棚尾地区の防災訓練が計画されている。可能であれば参加しようと思っ  
ている。災害時はホームのスタッフだけでは避難が難しいため、地域住民の協力も得られる  
ように積極的に地域の会議や訓練に参加をしていく。

ご家族より⇒ホームの場所は、津波はどうなのか？

➡津波の被災区域にはなっていないが、高潮や水害の被災区域にはなっているし

想定外が起きた場合のことも考え、基本的には非難を考えている

町内会長さんより⇒裏の堀川を津波が上がってくると思うのでここもどうなるかは分からない  
自主防災の内容も共有していきたい

次回：令和4年7月16日（土）14：00～